

東輝学校の名を戴いて

東輝自治会会長 小野口茂

東輝自治会は白子三丁目の一部、白子小学校の東南側を区域とする自治会です。「東輝」という名前も、白子小学校の前身「東輝学校」の名から



戴きました。

世帯数110余りの自治会ですが、運営の中心は会長以下役員・事務局7名と班長・副班長21名、役員・班長はほぼ毎月例会を開くなどして相互の意思疎通に努めるようにしています。

班とは別に「祭り・レクリエーション部会」「防犯・防災部会」などの部会を置き、役員・班長以外のボランティアも参加して、実際の活動を支えているのも特徴です。当自治会地区は商店がほ

とどなく、勤め人が多いため、少数の役員や班長に負担が集中することを避けたいとの考えからです。

祭り・レクリエーション年初めのボウリング大会を皮切りに、年に数回のDVD鑑賞会、子どもみこしも渡御する10月の熊野神社祭礼への参加、12月の餅つき大会などが主な行事です。レクリエーション活動は楽しいだけでなく、会員相互の交流を深めることによつて防災・防犯にも役立つています。

東輝自治会の区域内には適当な空き地や公園が無いので、祭り・餅つきの際には東上線際の成田

山神護寺境内をお借りしている。この境内は更に、夏休みの子どもラジ体操、災害時や防災訓練の集合場所になるなど大活躍で、快く使用を許可してくださるお不動様には感謝いたします。

防犯・防災

当自治会では、震災前から防災活動にも力を入れてきました。市の補助金を利用して、これまでに発電機やランプなどの防災資材を揃え、昨年からは食料・水・簡易トイレなどの備蓄も進行中です。

備蓄した資材は、餅つき大会の際に展示して披露したり、お祭りのときに炊き出しをするなどし

て、会員に周知をはかっている。会員の防災意識も高く、昨年11月の白子小学校での地域防災訓練の際には、40名が自主的に参加して役員も驚いたくらいです。また防犯活動についても、毎年12月下旬に「歳末防犯パトロール」を実施して、自治会区域内をくまなく巡回するなど力を入れていきます。当自治会エリアは起伏に富んだ場所も多く、ますます高齢化が進む中、自治会として災害に直面した時の危機管理対策と、会員同士の絆を深める呼びかけをはかると共に、近隣の自治会とも協力して、自治会活動を活発に推進して行きたい